

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉停止</li> <li>・発電所外への放射性物質の漏えい</li> <li>・非常用炉心冷却系の作動</li> <li>・火災の発生 など</li> </ul>
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全上重要な機器等の軽度な故障 (技術基準に適合する場合)</li> <li>・管理区域内の放射性物質の軽度な漏えい</li> <li>・原子炉等への異物の混入 など</li> </ul>
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化</li> <li>・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障</li> <li>・主要パラメータの緩やかな変化</li> <li>・人の負傷または病気の発生 など</li> </ul>
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常小修理 など</li> </ul>

平成17年12月20日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：

No.	号機等	不適合件名	備考
1	1号機	燃料プール冷却浄化系の弁点検時、ドライヤーセパレータ保管ピットドレン弁(V-1901-11B)の弁棒に腐食が認められたため、当該弁を点検・修理	
2	3号機	残留熱除去系熱交換器(B)室において、閉止配管貫通部のラバーブーツ止めバンドに外れが認められたため、バンドを取付け	
3	3号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器(A)保持ポンプ入口弁(V-12-4-32A)において、開度表示板と指針にずれが認められたため、当該部を点検・修理	
4	3号機	計算機室空調機において、温度調整器(TIC-76-609B)の制御不良が認められたため、調整器を点検・校正	
5	4号機	原子炉再循環ポンプの可変周波数電源装置検査において、成績書の判定値欄に誤記が認められたため、是正および関係者に周知	
6	4号機	原子炉再循環ポンプ(B)メカシールパージ流量調整器(FR-305B)において、調整不良が認められたため、当該調整器を点検・修理	
7	4号機	自動減圧系窒素ガス供給系統の圧力検出配管元弁(V-86-7A・7B)において、コネクタ部及びグラッド部より窒素リーク(カニ泡程度)が認められたため、当該部を点検・修理	
8	4号機	残留熱除去海水系供給配管の1次・2次ドレン弁(V-10-559B・614B)において、シートリーク(指3本程度)が認められたため、当該弁を点検・修理	
9	4号機	高圧復水ポンプ(C)吸込側配管廻りの配管サポート点検時、サポート部材に割れが認められたため、当該部を点検・修理	12月12日 NO.13 関連不適合

その他:

No.	号機等	不適合件名	備考
10	5号機	高圧注水系補助油ポンプにおいて、ポンプ架台のナットに外れが認められたため、ナットを取付け	
11	5号機	高圧注水系油冷却器油タンクレベル計において、上部閉止栓の外れが認められたため、閉止栓を取付け	
12	5号機	高圧注水系補助油ポンプにおいて、カップリング側軸受に油のにじみが認められたため、当該部を点検・修理	
13	5号機	高圧注水系ポンプ室において、空調機(HVH5-2)冷却水配管の保温材に破損及び変形(計3箇所)が認められたため、当該部を点検・修理	
14	5号機	高圧注水系ポンプ室において、空調機(HVH5-2)ドレンパンの腐食が認められたため、ドレンパンを点検・修理	
15	5号機	所内ボイラ設備の冷却水ポンプ入口圧力計元弁(75-32-512)において、開固着が認められたため、当該弁を点検・修理	
16	集中環境施設	雑固体廃棄物減容処理建屋換気空調系排気ファン(A)点検時、駆動側軸受の嵌合値に管理値外れが認められたため、当該部を修理	
17	集中環境施設	共用サブプレッションプール水サージタンク建屋の消火系屋内消火栓元弁(R25-F043)において、開度調整ナットの押さえ割ピンに外れが認められたため、割ピンを取付け	
18	集中環境施設	共用サブプレッションプール水サージタンク建屋において、通路ハッチをつり上げた際、チェーンブロック安全レバーの変形によるラッチ不良が認められたため、当該レバーを点検・修理	

<注 意>

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話:0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで